

Sirius Highway の概要

積込・船内見学会 2019年3月15日(金曜日)

- ① 所属 船名 : Sirius Highway
船主 : 川崎汽船株式会社の外国法人会社(マーシャル諸島)
運航 : 川崎汽船株式会社(K Line)
船舶管理 : "K" Line RoRo Bulk Ship Management Co., Ltd (神戸)
- ② 造船所 : 日本の株式会社 新来島どっく 大西工場、2017年7月竣工。
同型船10隻発注分の第9船として竣工した。
- ③ 船の大きさ : 国際総トン数75,044トン、最大積載重量19,600トン、
全長199.96m、全幅38m、オーバーパナマックス。
最大高さ約45m(船底からマストの先端まで)
- ④ 燃料 : 燃料は重油、タンク容量約2,800トン
エンジン : 主機の出力約18,000馬力、燃料消費量約40~50トン/日
速度 : 船速最大20ノット(37km/時間、1ノット(海里)は1.852m)
復元力 : 風向き天候・積荷等にもよるが、傾斜角約35度までは復元できる設計。
- ⑤ 下松入港時 : 入港時は、船底から水面まで約7.5m、水面から居住区のある上甲板まで約35m、
艙内の甲板数12デッキ、(鉄道車両や大型建機などの背の高い貨物を積載するため、
デッキの高さが三段階に調整できる構造となっている)
- ⑥ 自動車運搬 : 最大積載台数 普通乗用車(トヨタコロナ)換算で、約7500台(世界最大級)
乗用車の前後30cm、左右10cmのクリアランス間隔で、最大7,500台積載可能。荒天時の船体動揺時に車両が移動して、隣接の車両同士が接触・損傷を防止するために、前後に最低2本ずつ(車体重量により合計4本~6本)の固定ベルトで固縛する。艙内の側壁には固定ベルトを3万本以上配置している。固定ベルトは、乗用車用と大型建機用など、車両重量により強度の違ったベルトを使用する。
- ⑦ バラスト水 : 船の安定を保つためのバラスト水、タンクの容量約6,300トン
バラスト水を他国で排出する時には、バラスト水に含まれる微生物等によって、他国の海洋環境破壊を防止するために、国際条約である「バラスト水管理条約」に従って、バラスト水処理装置を通して排水する。
- ⑧ 消火と換気
消火設備 : 災発生時、船倉の全容積を約10分間で消火泡を充填できる能力の、高膨張式泡消火装置が設備されている。
換気設備 : 乗用車の荷役時の排気ガスを換気するために、全船倉内の空気を1時間に12回入れ替えることのできる換気装置を設備している。
- ⑨ 乗組員 : ブルガリア人の船長以下、日本人、ウクライナ人及びフィリピン人の「混乗」で、船長、機関長コックさん等を含めて、24名の乗組員が乗船していて、船内の公用語は英語。
- ⑩ 今回の航行 : 下松で英国向け高速鉄道車両を15~22両積載して、その後、名古屋に寄港して残りのスペースに欧州向け乗用車を満載する。

日本を出港後、シンガポール(補油)~スエズ運河~地中海経由欧州諸港に寄港して、車両並びに高速鉄道車両を揚荷する。

その後、欧州で製造された乗用車をアジア、日本向けに積載して、スエズ運河経由で帰港する。

それぞれの寄港地での荷役等の関係で、日本~欧州~日本(1航海)が約3ヵ月かかる。

下松での船積が月1回のために、同型船3隻が順番に、月に1回、定期的の下松港に寄港している。

以上